

# 豊かで充実した老後を 漁業者年金

ひとりば万人のために、万人はひとりのために

9月号 No. 383

一部 10円

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会  
(財) 兵庫県水産振興基金  
神戸市兵庫区中之島 2-2-1  
TEL 681-6954~7  
発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

## 昭和六十三年 のり漁期スタート!

化推進・自己選別の徹底・推進強化・一斉撤去、張り込みの推進と決定され閉会された。これで「兵庫のり作」の信用の一枚をスローガンに、昭和六十三年度兵庫のり養殖のスタートとなった。

### 昭和六十三年 のり養殖安定対策決定

#### 漁期対策決定

去る九月二日、兵庫 六十二年のり漁期結果について(報告) ② 県立水産会館大会議室において、県下のり生産者代表出席のもと、昭和六十三年重点指導事項について、協会の養殖安定対策協議会総会が開催された。

協議に先立ち、兵庫 漁期対策については県の養殖安定対策協議会会長・兵庫県水産試験場長より、のり養殖をとりまく、厳しい現状・漁期対策の必要性について、挨拶の後、協議が行われた。

### 播磨地区漁婦連 幹部研修会開催

#### 幹部研修会開催

去る八月二十六、二十七日の二日間わたって、播磨地区漁婦連幹部研修会(津田小夜子会長他一、四二三名)幹部研修会が、福良漁協(南淡町)並びに、五色町漁協(五色町)において開催されました。

この研修会は、淡路地区の漁業の現状と組合運営、また、婦人部における諸活動についてテーマを定め、地区



兵庫県・兵庫漁連連、昭和六十三年のり養殖研修会開催

## 昭和63年度 のり養殖研修会開催

兵庫県・兵庫漁連連、昭和六十三年のり養殖研修会が、九月九・十日の両日、姫路・播磨漁友会館および一宮町・淡路文化会館の両会場に県下海苔生産者二〇〇余人参加のもと開かれた。

研修内容は、①兵庫 県のり漁場環境動向②のり養殖品種と原藻の選抜方法について、(兵庫のり研、永田誠一・上田隆敏両科長) ③本年度のり養殖の取り組みについて(兵庫のり研駐在室長) ④のり流通・消費の動向(食品新聞社・中島茂明記者) ⑤海水の起源をさぐるのり漁場の水はどこからくるのか(中国工業技術試験所・藤原建紀主任研究官) で各講師より内容豊かな講義の後、活発なフリートーキングがあり、両会場とも、夕方五時過ぎまで、生産者研修が行われた。

中島茂明氏より、自己選別の強化・特徴あるのり作り等の「兵庫のり」への提言、又、藤原建紀氏よりの播磨灘・大阪湾の複雑な、潮の流れ・水の動きは、興味深いものであった。

## 第九回淡路水交会長杯 淡路地区漁青連親睦 ソフトボール大会開催



また、年々参加者数も増加し、技術も向上するなど、益々、充実した大会となってきました。

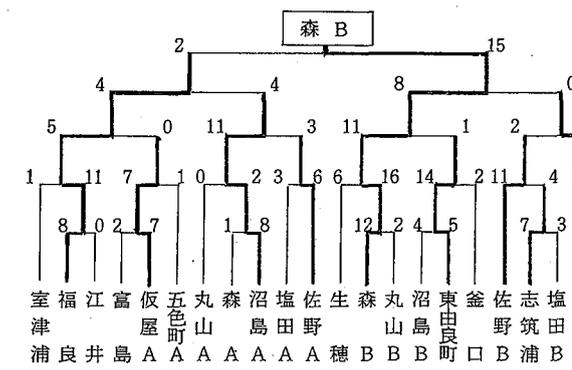
試合の方は、激戦の末、森漁協4日クラブBチームが、二年連続優勝を成し遂げました。

優勝 森漁協4日クラブBチーム  
準優勝 福良水産青年チーム  
最優秀選手賞 森漁協4日クラブBチーム 森 久俊氏  
敢闘賞 福良漁協水産青年チーム 龜井光二氏



津名町志筑津名臨海ランドにおいて、第九回淡路水交会長杯争奪ソフトボール大会が盛大に開催されました。今回は二十二チーム約三〇〇名が参加し、炎天下の中で白熱した試合が繰り広げられました。

この大会は、毎年夏に淡路地区の青壮年部が一堂に会し、お互いの親睦を深めると共にソフトボールの腕前を競う一大イベントであるため、この日を楽しまに何日も前から、練習を積み重ねてきたチーム、仕事を休んで参加したチーム、ユニホームを全員で揃えたチーム等があり、本大会に対する意気込みが感じ





水試ノート

マコガレイの中間育成

マコガレイの中間育成は、他のマダイ、ヒラメ等の栽培魚種と較べて、非常に難しいものと考えられてきました。

これは、魚介肉ミンチ、配合飼料による飼育が困難で、天然の動物プランクトンや種苗生産で用いるチグリオ

さて近年、海面養殖魚類の餌料としてモイストペレット(以下、モイスト)が使用されるようになり、これはオレゴンタイプとも言われ、一般的に

稚魚の二三、三五〇尾を用い、五月五日から六月三日の間、サイズ別の成長及び栄養剤の添加効果について飼育試験しました。

飼育結果 マコガレイ稚魚は約二ヶ月間の予備飼育により、平均全長二mmから三mmに成長し、この間の歩留まり約八

は冷凍魚介肉と配合粉末飼料を同量混合し粒状に成形したもので、水分を四割以上含み、モイストは魚介肉ミンチと較べると投餌時の餌の流出が少なく、また、配合飼料と較べると好性に優れています。

そこで、本年度はモイストを用いてマコガレイの飼育を試み、その概要を報告します。

予備飼育 マコガレイ稚魚は県栽培漁業センターで生産されたもの約四、〇〇〇尾を用い、三月三日から五月一日まで予備飼育しました。当初一ヶ月間は1kgFRP水槽に約二、〇〇〇尾

海区漁業調整委員会だより

八月三十一日

第三四五回但馬海区漁業調整委員会を兵庫県民会館会議室で開催

八月三十一日 第二〇四回兵庫県漁業調整委員会を兵庫県民会館会議室で開催

八月三十一日 第十三期委員の任期満了に伴い、第十四期委員が選任されました。

兵庫JCC通信

今、農協・生協では

農協には婦人部や青年部が力強い主張

農協には婦人部や青年部が力強い主張

農協には婦人部や青年部が力強い主張

第1表 試験飼育期間中の成長

Table with 7 columns: 試験区, 5月2日, 5月18日, 6月3日, 餌料種類. Rows 1-7 showing growth data for different experimental groups.

注) 配合: 市販のハマチモイスト用配合粉末飼料 栄養(A): 市販のハマチモイスト用飼料添加剤 栄養(B): 市販のアユ色出し用飼料添加剤

イヌ区(全長二四三二mm)までは冷凍ブラインのみに認められ、試験開始直後から約二週間続き、歩留まりは八〇%であった。死亡した個体は比較的小型魚であったことから、死亡原因は餌付け不良であったと考えられます。

以上の結果から、人工餌料を用いたマコガレイの中間育成が可能であることが分りました。

この時期が冷凍ブラインから冷凍ブラインと配合飼料とのモイストへ餌料を切り替える目安です。また、配合飼料

志をどう考えるのか。不公平税制の是正を先に行うべき。消費税の導入は新しい不公平を生む。他の商業者、労働団体、消費者団体とも広く協同しながら反対しよう」と述べ

と水のみをモイストへの切り替えは、冷凍ブラインの割合を徐々に減らすことにより、容易に行えます。

今後、マコガレイの中間育成技術を確認するために適正な収容密度、給餌率等多くの課題を解決しなければなりません。

漁海況情報

昭和63年8月 兵庫県立水産試験場

マダイが主に漁獲されている。今月からクルマエビが漁獲されているが、小さいものが多く、例年八月頃よりメイカゲイの当才魚が混獲され始めるが、現在のところほとんど見られない。一方、播磨灘西部の漁場ではマダコが例年になく多い。

大阪湾西部・紀伊水道北部)八月十七日の調査結果によると大阪湾の表層水温は三・〇(二四・七)の範囲にあり、平年に較べて一・五程度低目である。

分野別報告では、神戸大学生協、神戸医療生協、灘神戸生協の組合員より、それぞれの立場から具体的な影響が数字をあげて説明されました。最後に、消費税導入を阻止するために県内で百万人の署名を集めることを決議し、満場の拍手でこれを採択しました。

漁況 (小型底曳網) 明石海峡周辺を主漁場とする小型底曳網(ちん漁)ではマダコ、サルエビ、アナゴなどが主に漁獲されている。昨年と同じく漁獲量は少ないが単価が高い。」という状況が続いている。

漁況 (小型底曳網) 明石海峡周辺を主漁場とする小型底曳網(ちん漁)ではマダコ、サルエビ、アナゴなどが主に漁獲されている。昨年と同じく漁獲量は少ないが単価が高い。」という状況が続いている。

